

第3回《建築士と考える住まいスクール》

3月15日の午後、暖かい春の日差しに包まれて東灘の甲南漬本店で、“我が家のリフォーム・永く住み続けるための提案&旧高嶋邸見学”と題してセミナーを開催しました。

日頃、住宅設計に携わっている横田・長谷川の両氏が、自ら取り組んだ住宅改修工事を元に設計に込める思いを熱く語りました。



パワーポイントを使いながらの説明に熱心に耳を傾けメモを取る参加者の姿が印象的でした。

今まで馴染んできた住宅を、より住みやすい環境に変身させ、思い出を残しながら、新しい井吹を吹き込む“リフォーム”。“新築”にはないこの“改修”という手段の魅力が十分に伝わったのではないのでしょうか。



この後、高嶋氏から1930年に完成した旧高嶋邸(清水栄二設計・現在の甲南漬資料館)を案内していただきました。2代目の社長がご子息の体格が良くなるように西洋的な生活をさせたいとの思いで建てられたRCと木の混構造で、当時の豊かな生活空間が偲ばれました。



見学の後、1階の和室でお茶をいただきながらしばしの歓談を楽しみ、最後に質疑応答の時間を設けました。



皆さん、住まいへの関心が高く、『水回りが重要と聞くが、塩ビパイプの寿命は?』との質問や、自然素材と新建材について等いろいろな話が出て盛り上がり、予定の16時を少し過ぎての終了となりました。